

## 第89回国立大学法人筑波技術大学経営協議会議事録

I 日 時 令和3年12月23日（木）14時00分～16時30分

II 場 所 大会議室、オンライン（Zoom）

### III 出席者

- ・学外委員：荒川早月、石野富志三郎、川村恒明、北原保雄、木村利男、小林武弘、齋藤佐和、宍戸和成、竹下義樹の各委員
- ・学内委員：石原保志（議長）、坂本淳一、四日市章、長島一道、内藤一郎、坂尻正次、谷貴幸、加藤一夫、佐藤正幸の各委員

#### 欠席者

- ・学外委員：石井靖乃、大熊由紀子、藤島省太、森戸久雄の各委員
- ・学内委員：なし

#### 陪席者

- ・大島慎子監事、竹内啓博監事

### IV 議 事

#### 1 前回議事録の確認について

議長から資料1により、第87回及び第88回の議事録について説明があり、案のとおり確認された。続いて、議長から、今回の会議においては、報告事項から先に議事を進行したい旨の発言があり、了承された。

#### 2 報告事項

##### （1）第4期中期目標・中期計画について

坂本理事から、資料3-1～3に基づき、第4期中期目標・中期計画について報告があった。

##### （2）令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果について

事務局から、資料4-1～2に基づき、令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

##### （3）令和2事業年度財務諸表の承認及び決算剰余金の繰越承認について

事務局から、資料5-1～3に基づき、令和2事業年度財務諸表の承認及び決算剰余金の繰越承認について報告があった。

##### （4）令和4年度入学者選抜実施状況（学部）について

事務局から、資料6に基づき、令和4年度入学者選抜実施状況（学部）について報告があった。

- (5) その他  
特になし。

### 3 審議事項

#### (1) 将来構想について

学長及び坂本理事から、資料2-1～3に学部等連携課程の設置及び保健学科の改革について説明があり、意見交換を行った結果、学外委員から出された意見を参考として更に検討を進めることとなった。

(主な意見)

#### 【学部等連携課程の設置について】

- ・ 学生への周知、募集方法をどうするのか。一定期間のうちに着手しないと間に合わなくなるのではないか。卒業後の進路について調査はしているのか。本学の思い込みだけで学生を集めることは難しいのではないか。
- ・ 卒後の就職先として例示しているのが公務員、社会支援団体職員等では職域として狭すぎる。企業がどこにも入っていない、国際的視点が抜けている、そうした分野こそが連携課程にふさわしいのではないか。
- ・ 社会の仕組みを理解させようとするなら、社会に関する基礎的な知識が必要なはず。原案では、連携課程は「理系」なのだという印象を与える。もっと受け止める学生の側に立って、文系の学生をすくい取れるようにしなければいけないのではないか。
- ・ 「ダイバーシティ社会創成」という名称は良い。全学的にそうした教育を明確にしたらいのではないか。

#### 【保健学科の改革について】

- ・ 保健学科の改革は、原案では不十分。本学でなければできないことが、鍼灸学の教員に聞いても出てこない。
- ・ 本学の役割は、何より鍼灸学という分野においてリーダーシップをとるということ。現行のコースでは、盲学校専攻科との差別化ができていない。
- ・ 鍼灸学専攻を残すのであれば、本学でなければできないというコース（教育内容）でなければいけない。現場が苦勞しているのは理解しているが10年以上学生数が減少し続けていることも明白であり、鍼灸学専攻をやめるということも含めて、検討しなければならないのではないか。

- (2) その他  
特になし。

以上